

## 2016年豊陵会総会中部支部長挨拶

みなさんこんにちは。冬寒く夏暑い名古屋から参りました。クールビズで失礼します。  
昨年高校12期の松原先輩から中部支部長を引継ぎました高校22期の岡野でございます。本日は豊陵会総会にお招き頂きありがとうございます。ひと言ご挨拶申し上げます。

中部支部は昨年正副支部長、支部役員・常任委員の一部が交代し、現在支部役員・常任委員19名の新体制となりました。会員数は愛知・岐阜・三重・静岡の東海4県在住の方を中心に発足以来450名規模です。

昨年11月07日に名古屋商工会議所の名商グリルで第8回支部総会を開催しました。総会には来賓の豊陵会永田会長、下川校長先生他、48名の皆さんにご参加頂きました。永田会長からは支部総会前日に完成した出来立てホヤホヤの豊陵会新会員名簿のPRを、**下川校長からは豊中高校が大阪府下で唯一GLH(グローバル・リーダー・ハイスクール)と、SSH(スーパーサイエンス・ハイスクール)の両方に指定されことが紹介されました。**

恒例の講演会は、今年4月から始まった電力小売全面自由化を目前に控え「電力システム改革」をテーマに、三菱電機総合エネルギーシステム技術部のマルミローリ・マルタ次長に、日本の電力システムの課題とその改革への取り組みをお話しいただきました。マルタさんは三菱電機の中でも異色のイタリア人女性エンジニアであり、日本初の卸電力取引所のシステム構築をはじめ、一貫して電力システム改革関連事業に従事されています。すこし大阪弁の入った(日本語の)講演に、皆さん熱心に耳を傾けると共に活発な質疑応答が行われました。

続いて高校7期の大先輩と、卒業間もない高校67期の現役大学生との60年の時を経たお二人の乾杯で懇親会の幕が開きました。講演をお願いしたマルタさんの参加もありインターナショナルな輪も広がりました。また、新しい取り組みとして、異業種交流や趣味の交流を目的としたなんでも掲示板の設置や、大阪をテーマにした「ビンゴ大会」を実施し、皆さんに大阪の名所、名物、グルメなどを懐かしく思い出していただきました。

中部は自動車産業、航空機産業等、日本の製造業の集積地であり、管内総合経済動向は12ヶ月連続緩やかに改善している元気な地域です。今後お仕事の関係で中部地区に転入される方が増えるのではないかと期待しています。その節は是非とも中部支部へご連絡下さい。大阪から少し離れた場所で母校や恩師の思い出を共有する先輩後輩と接することが支部同窓会の魅力だと思います。

豊陵会新会員名簿に掲載しました中部支部広告のとおり、「同窓会はこころのふるさと」をモットーに、「美味しい料理に美味しいお酒！心ゆくまで大阪弁！みんなでいこいこ!!」と名商グリルでの総会参加を呼び掛けています。名商グリルは創立80周年を迎えた老舗名古屋観光ホテルの直営レストランで、味には定評があります。今後とも中部支部らしく、親しみのある手作りの支部活動を心掛けていきたいと思っております。皆様方の更なるご指導、ご支援を宜しくお願い致します。

最後になりましたが2021年の創立100周年に向け、豊中高校および豊陵会が一段と発展することを祈念しまして、中部支部からの挨拶とさせていただきます。おおきにありがとうございました。

